

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2001-129967 (P2001-129967A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 15 日 (2001.5.15)
 【出願番号】特願 平 11-318356
 【国際特許分類第 7 版】
 B 4 1 F 17/34
 【F I】
 B 4 1 F 17/34 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 8 月 11 日 (2004.8.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 4】

このような溶剤吸収体 2 4 a は、図 3 に示されるような押さえ板 2 5 a に固定される。押さえ板 2 5 a の上面には開口部を有し、溶剤貯留槽に接続される供給管 2 5 c を介して、一定周期あるいは間歇的に溶剤が自動的に送り出される。その結果、溶剤吸収体 2 4 a は溶剤によって常時含浸される。

溶剤吸収体 2 4 b についても、供給管 2 5 d を介して溶剤貯留槽に接続され、一定周期あるいは間歇的に溶剤が自動的に送り出され、溶剤吸収体 2 4 b は溶剤によって常時含浸される。

溶剤として、例えばシクロヘキサノンやエチレングリコール等の有機溶剤がインクの組成成分に応じて適宜選択される。

本実施例では、図 2 のように、印版 1 2 上の図中右端面と下側面とに溶剤吸収体 2 4 a および 2 4 b を配置するが、この 2 面に限定されるわけではなく、印版 1 2 を囲む四面の内いずれか一面または複数面に溶剤の含浸した溶剤吸収体を配置してもよい。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 1】

さらに、印版 1 2 が前進して転写位置に来るとともに、転写パッド 2 0 が転写パッド駆動手段 2 2 によって連動して下降し、印版 1 2 上の印刷用パターン溝 P に押し付けられる。印刷パッド 2 0 が印刷用パターン溝内に塗布されたインクを付着させた後、転写パッド 2 0 は上昇すると共に、被印刷物 T の上方に横移動し、被印刷物 T の上面に下降して、被印刷物 T に押しつけることにより、所定のパターンを構成するインクを被印刷物 T に転写する。

このように印版 1 2 の往復運動の度にパッド印刷が行われ、また往復運動の度に、溶剤吸収体 2 4 a や 2 4 b に接触してブレード 1 4 がクリーニングされる。